

令和5年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名
カウンセリング	1 単位 (30 時間)	美容科・1 学年	天野 成敏
学 習 目 標			授業の方法
理容師・美容師は人と接する仕事である。この教科では、前半に一般的なカウンセリング論を学び、顧客の心の内を知り、よりよい対応ができるようになることを目指す。 後半は、理美容サロンでの実際に即し、毛髪・皮膚コンサルティングについての理論、実践を学び、より専門的なカウンセリングについて知識を深める。			講義
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (60 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
カウンセリング (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

章	項	内容・目的	履修時間
第1章 カウンセリング概論	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングとは ・カウンセリングの手法 ・カウンセリングに必要な基礎知識 ・カウンセリングの訓練 ・職場の精神衛生管理 	<p>カウンセリングは「相談の基礎知識」「人間の心の働きや仕組みの基礎知識」「カウンセリングの基礎技法」「カウンセリングの練習」「具体的な事例に対する訓練」「職場の精神衛生管理」などについて理解させる。</p> <p>さらに、しっかりと知識と技法を身に付け、現場で構えず自然体でカウンセリングやコンサルティングができるようになることを目指す。</p> <p>また、自己理解を深め、自分の精神衛生管理もしっかりとできるようになることが目的である。</p>	10
第2章 皮膚・毛髪 コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンでのコンサルティングの意義 ・毛髪診断 ・パーマ施術前のコンサルティング ・ヘアカラー施術前のコンサルティング ・その他の施術前のコンサルティング ・コンサルティングのその他の知識 	<p>お客様の要求に応え、事故のない施術を行うためにコンサルティングは不可欠である。</p> <p>コンサルティングの意義についてしっかりと伝え、コンサルティングに臨む際の基本的な心構えを理解させる。</p> <p>サロンの実態に合わせ、実際のパーマ施術、ヘアカラー施術を中心としてコンサルティング担当者及び施術者が知っておくべき基本的な事項について理解させる。</p>	20